

公表

訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名		公表日				
中野区立療育センターアポロ園		2025年 3月 28日				
		利用訪問先			回収数	
		88			40	
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的にわかりやすく、取り入れやすいものですか。	33	6	1	・端的に子どもの特徴と関わり方を提示してくれ分かりやすい ・専門家からの助言は分かりやすく、子どもへの対応にとても役立っています ・わかりやすいのですが一般論過ぎるときもあったので、その場の具体的なアドバイスがいただけたら助かります。	児童に関する支援について保育所の先生方とアセスメントを共有しつつ、より具体的な支援につながるように訪問員のスキルを高めています。 これからより児童の状況に合わせた話ができるように努めています。
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	30	8	2	・立ち歩くこどもの姿に迷っていたが、みんなと参加したい気持ちがあると話してもらい、その子への捉え方が変わりました。普段毎日こどもたちとかかわっていますが、改めて専門職のかたの意見を聞いて、一緒にこどものことを考えていく必要があることを実感しました。 ・これからも積み重なっていくものと思っています。	中野区の保育所等への訪問について今年度は法人として初年度でしたので、経験不足へのご指摘は真摯にうけとめ、これからも精進してまいります。 これからも各保育所の状況に合わせた支援について協議出来るように努めます。
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	32	7	1	・今後、療育の様子もうかがいながら、家庭、園でできる事を共有していきたい。 ・こちらの不安に共感しながら、アドバイスをくれるので聞きやすい。 ・こどもだけでなく私たち職員の気持ちもうけとめてくださった上での工夫なども答えてくれるので、とても助かっています。	当園での療育の様子を共有させていただき、より密に協議させていただければと存じます。 また、適時適切に回答が出来る面とその場で具体的な支援についてお答えできない場面もあり、より訪問員のスキルアップと個々の状況を踏まえた支援になるように努力していきます。
4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	26	12	2	・職員の悩みも軽減されるので、もう少し頻回に連携をとっていただけると有難いです。 ・子どもへの対応を具体的に教えていただき保育士のかかわり方のヒントになりました。	契約者数がとても多くなかなか訪問頻度を上げることが難しい状況ですが、今後増やせるように計画をしています。
5	事業所からの支援に満足していますか。	25	12	3	・今年度の訪問開始が遅くなったため、保護者の戸惑いが大きい。他機関に通っている家庭もあり両方の指導を子どもも保護者も受け戸惑っている。今後、信頼関係を構築し安心して相談できる連携となるとよい。 ・職員の考えていることを肯定しつつ聞いていただけるだけでも保育のプラスになっていると考えます。	今年度の訪問開始が遅くなり大変申し訳ございませんでした。 今後、我々も信頼関係を構築してより児童やご家庭、保育所の皆様への支援を強化できるように邁進します。
その他のご意見				ご意見を踏まえた対応		
・軌道にのるまでご苦労があったようで、巡回開始が遅くなってしまった。対象児が年長だった為、少し残念ではあった。 ・今年度の巡回訪問もありありがとうございました。学期毎に対象児童の姿などを始めとした保育者の話丁寧に聞き取ってくださり、また、療育園での姿も共有させていただきながら専門的な視点でアドバイスを頂けたことは、その後の保育を進めていくうえでとても励みになりました。 ・今年度から新しい事業者さんに代われ、最初は訪問がしっかりされるか心配でしたが、始めてみると定期的な訪問も問題なく行われ、支援員の先生のアドバイスも適切で安心しました。 ・こちらが支援する時に困ってしまう事について、的確にアドバイスやわかりやすく説明してくださるので、とても良いです。学期ごとに年間3回程度訪問してくださるのですが、もう少し回数を増やしても良いかと思いました。 ・お忙しい中、ご指導いただき毎回感謝しております。たくさん質問などさせていただいてるので、援助をする際の助けとなっています。今後とも該当児がいる際はよろしく願いいたします。				訪問先職員の皆様、ご協力を頂きましてありがとうございました。 今年度の法人変更による影響で訪問開始が遅くなり大変申し訳ございませんでした。ご心配の声を多くいただいておりましたが、体制が整ってからは地域の皆様の信頼を得よう職員も保育所等訪問支援の質を上げるため、また訪問機会の損失がないように日々努力を続けてまいりました。現在のところ前年度どおり学期に1回の訪問となっております。 今後も引き続き私たちは信頼関係を構築し、より児童やご家庭、保育所の皆様への支援を強化できるように邁進します。訪問の頻度に関しては回数を増やしていく方向で計画を進めております。 中野区では訪問のご要望が多いため、訪問時の質を担保したまま回数を増やせるように職員の研修の機会を増やし、利用者や保育所等の職員の皆様にとって有意義な支援となるように研鑽を重ねてまいります。		